

(一般質問)

質問日	令和7年3月11日（火）			質問方式	分割方式		
質問順位	9	会派名	市民サポート浜松	議席番号	1	氏名	馬塚 彩矢香
表 題		質 問 内 容					答弁者の職名
1 環境負荷の抑制を目指して		近年、世界各地、日本でも起きている異常気象による災害は、地球温暖化の影響であり、地球環境に及ぼした環境負荷の結果であると考えられる。地球温暖化への対応は喫緊の課題であり、環境負荷の抑制を目指して、できることは実施すべきであるとする。 そこで、以下について伺う。					中野市長
(1) カーボンニュートラルの推進について		(1) 気候変動の原因となっている温室効果ガスの削減は、世界において喫緊の課題である。本市も令和2年3月に「ゼロカーボンシティ」宣言をしており、2023年度に改定した「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」では、2030年度における市域全体の温室効果ガスの排出削減目標を2013年度比52％に設定するなど、国の計画目標を上回る高い目標を掲げ、積極的に推進している。この目標値を達成するためには、全庁的に取り組んでいく必要がある。 そこで、市長をトップに、全庁的にどのように取り組みを推進しているのか伺う。					
(2) 市指定ごみ袋のレジ袋としての活用について		(2) レジ袋有料化の導入以降、マイバックやマイバスケットを使用する人が増えている。しかし、依然として有料化後もレジ袋を購入する人を見かける。以前は、レジ袋をごみ袋として利用できたが、市指定ごみ袋の導入により、購入したレジ袋はプラスチックごみとなっている。レジ袋として市指定ごみ袋を販売することで、プラスチックごみの削減が図れ、CO ₂ の削減に繋がり、カーボンニュートラルの推進に寄与できると考える。 すでに、政令指定都市では熊本・千葉・福岡市が導入、札幌市は実証実験をしている。 そこで、本市においても、市指定ごみ袋をスーパーやホームセンターなどの小売店のレジ袋として取り入れる考えはあるのか伺う。					山田環境部長
(3) 回収不可能なバルーンリリースについて		(3) バルーンリリースとは、風船を集団で一斉に空に飛ばすことである。このバルーンリリースがイベント時に演出として市内でも行われている。また、本市においても、市のイベントや学校行事でも行われている。 華やかな演出に思えるが、飛ばした風船の回収は不可能であり飛ばした後の責任は取っていない。たとえ天然ゴム風船であっても環境へは負荷であり、野生生物の誤食の被害も招いている。そのため、SDGsの考え方や環境教育の観点からも問題があるとする。 そこで、本市のバルーンリリース実施の把握状況と考					〃

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	えを伺う。また、今後の方向性について伺う。	
2 子育て環境を支える取り組みを (1) 屋内型の子どもの遊び場整備について (2) 保護者購入の教材の見直しについて	子どもを取り巻く環境は、近年大きく変わっている。生活環境や家庭環境の変化に伴い、必要とされる支援も変わるため、子育て環境を支える取り組みを随時見直す必要があると考える。 そこで、以下について伺う。 (1) 地球温暖化の影響で、年々夏季の気温上昇が顕著であり、去年は毎日のように熱中症警戒アラートが発出された。子どもの場合は運動を中止すべき、エアコンの効いた涼しい場所で過ごすようにと言われ、保護者は子どもを遊ばせる場所に困っていた。有料の民間施設はあるが、負担が大きく誰もが利用できるわけではない。本市にも、室内遊びができる浜松こども館があるが、他にも活動的に体を動かす事のできる場所が必要である。 文部科学省の幼児期運動指針では、毎日合計60分以上の運動をすることが推奨されており、幼児期からの子どもには、季節や天候に関わらず、安全に体を動かして遊ぶことのできる場所が必要であると考え。 そこで、以下について伺う。 ア 季節や天候に左右されることなく子どもが遊べる場所がほしいとの声を聞いているが、本市の現状とニーズの把握状況を伺う。また、そのニーズに対する考えを伺う。 イ 本市の都市公園における屋内型の子どもの遊び場整備について、考えを伺う。 (2) 授業で使用する教材には、学校購入の教材としている物と各家庭が購入する物がある。備品か購入かの運用の仕方は、全国の自治体で様々である。 本市においては、例えば算数セット(かずのおけいこどうぐセット)は、以前は全て購入していたが、平成12年に見直され、現在は一部購入になっている。そして、購入したおはじきなど全てに名前書きをしており、保護者の負担となっている。 また、学校ではSDGsを学んでいるため、全児童生徒がそれぞれ新しい物を買うことに対し、SDGsの考えとは反するのでは無いか、学校備品としてリユースしてもいいのではないかとの声も聞かれる。 保護者の働き方や社会情勢が変化するなかで、保護者の負担軽減とSDGsの推進のためにも、再度見直しが必要であると考え。 そこで、保護者購入の教材に関して、算数セットをはじめ、その他の教材や道具(絵の具セット、彫刻刀など)も含め、見直す考えがあるのか伺う。	吉積こども家庭部長 中村花みどり 担当部長 奥家学校教育 部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
3 早発卵巢不全の女性への支援を	早発卵巢不全は、女性が40歳未満の早い時期に卵巢機能が低下し、月経(生理)が来なくなる状態を指し、発症年齢は様々で、20代は1000人に1人、30代は100人に1人とも言われている。初期症状がほとんどなく、月経が不規則なため、検査をして発見されるが、発見時には卵巢機能がわずかしかなかった状態が多く、妊娠を希望している人はその状況に応じた対応が必要になる。考えられる対応の中で、卵子の凍結保存が有効な手段だが、早発卵巢不全における卵子凍結に助成制度はなく、自費診療となるため、自己負担の多さから妊娠を諦めざるを得ない場合がある。 少子化の進む本市においても、子どもを生みたい女性が妊娠する機会を得るための支援をすることは大切なことだと考える。 そこで、本市において、早発卵巢不全の女性への支援として、卵子凍結の助成事業の創設の考えはないか伺う。	平野医療担当部長
4 特命随意契約の在り方について	特命随意契約は、その性質上、複数年にわたり継続して契約することもある。 以前より、複数年にわたる特命随意契約において、賃金等が上昇していない契約については、一般質問や決算審査において指摘をしてきた。 昨今の急激な物価高騰、賃金の上昇に伴い、契約する上で適切な価格転嫁をするように、国から通知が出ている。令和5年11月には、内閣官房及び公正取引委員会より、労務費の転嫁に係る価格交渉に関し、地方公共団体を含む「発注者及び受注者それぞれが採るべき行動／求められる行動」について、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」として取りまとめられており、総務省自治行政局からは「労務費、原材料費、エネルギーコスト等の適切な価格転嫁について」の通知が出ている。本市においても、適正な価格転嫁をし、公平な契約に努めるべきであると考え。 そこで、以下について伺う。 (1) 適正な価格転嫁のための、本市の対応を伺う。 (2) 「発注者及び受注者それぞれが採るべき行動／求められる行動」について、各所管課、受注者への周知の有無と方法を伺う。	鈴木財務部長
5 動物園の再生に向けて	現在本市においては、動物園再生基本計画の改訂に向け、見直しが行われている。 動物園には、種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーションの4つの役割があるとされている。また、SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」の推進の	中村花みどり担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
(1) 動物スポンサーの推進について (2) 来園者の快適性の向上について	ためにも、動物園は重要な施設である。その役割を果たすために運営の改善を続け、資金を確保するとともに、来園者の増加を図るためには快適性の向上を目指す必要がある。 そこで、以下について伺う。 (1) 現在、本市では、NPO法人浜松市動物園協会がサポーター制度を設けて、動物園の動物を支える動物サポーターになってくれた個人または団体を動物園エントランス付近で掲示し紹介している。しかし、このサポーター制度のみではなく、企業スポンサーを募ることで、資金確保と、動物園を活性化するために、動物スポンサー制度として推進する必要があると考える。 そこで、豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）のようにスポンサーの看板を獣舎にも掲示するなど、誰がどのような支援をしているのか分かりやすい工夫をしていく必要があると考えるが、本市の考えを伺う。 (2) 現在の動物園は、来園者が十分に満足できる施設であるとは言い難く、来園者40万人を目指す上で、再度訪れたいと思われるように、園内の快適性の向上が必要不可欠であるとする。 昨年的一般質問で指摘した授乳室の問題点など、施設整備には来園者の声を反映させる必要があると思うが、再整備に向け、来園者からヒアリングをする考えがあるか伺う。また、今、把握している要望に対して、どのように考えているか伺う。	
6 教職員の修学旅行等の引率時の自己負担について	修学旅行や遠足時は、教職員が職務として引率している。現在、本市の小学校における修学旅行では、多くの学校がテーマパークに行っている。そして、教職員の引率時の入場料は、公務でありながら自己負担をしている。公務でかかる経費は、教職員の自己負担ではなく、公費による実費負担にすべきであるとする。 そこで、以下について伺う。 (1) 引率にかかる経費の自己負担について、本市の現状認識を伺う。 (2) 旅費マニュアルには、宿泊料金や交通費の支給についての記載はあるが、入場料についての記載はない。入場料についての規定を設ける必要があると考えるが、考えを伺う。 (3) 今後の運用について伺う。	奥家学校教育部長